

藤が丘学区防犯協会



【藤が丘学区】

■世帯数：7,099 世帯

■人 口：12,297 人

■面 積：1.071 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

学区内住民の防犯意識を高め、地域の防犯力を向上させるために、藤が丘学区防犯協会による各種防犯活動を実施。延べ参加者数は約 370 人。

- ① 防犯活動：毎月 1 回、地域安全パトロールを実施
- ② 自転車対策活動：毎月 2 回、放置禁止地域内のパトロールを実施
- ③ 防犯自転車診断：毎月 1 回、施錠、防犯登録の有無の確認
- ④ 新入生対象放置自転車追放キャンペーン：年 1 回
- ⑤ 放置自転車追放キャンペーン：年 2 回
- ⑥ 夏季の夜間警戒パトロール：年 2 回
- ⑦ 年末の特別警戒パトロール：年 2 回

【住民への PR 方法】

広報「藤が丘」（毎月 1 回発行）に活動内容などを掲載

【アピールポイント】

藤が丘学区自治会役員は、各種学区行事への参加意識が高い。また、藤が丘学区セーフティパトロール隊の隊員（9 人）はボランティアによる活動で、隊員間の連帯意識も強く非常に協力的である。

2 きっかけ、背景

藤が丘学区は、転入・転出による人の異動が多く、それに付随して各種犯罪も多発していたため、学区防犯協会の顧問が危機感を抱き、平成の初めごろにパトロール隊を結成し、自治会選出の防犯委員と連携して活動することとなった。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

パトロール隊員、自治会防犯委員、自治会役員 計約 50 人

(2) 運営協力

名東警察署に防犯自転車診断および年末夜間のパトロールへの協力を依頼し、土木事務所など関係諸機関には新入生対象放置自転車追放キャンペーンへの協力を依頼している。

4 実施のスケジュール

毎月 2 回 自転車対策活動 整理、清掃、警告エフ付け

毎月 1 回 防犯の日パトロール (のぼり、拡声器にて町内巡回)
地域安全パトロール (のぼり、拡声器にて町内巡回)
防犯自転車診断 施錠・防犯登録の有無の確認

年 1 回 新入生対象放置自転車追放キャンペーン

年 2 回 放置自転車追放キャンペーン

年 1~2 回 夏季、年末の夜間警戒パトロール

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・住民間の交流が深まった。
- ・「安心安全はまず自分で守る」という防犯に対する住民の意識が高まった。

(2) 苦労した点

- ・参加者の確保に苦労した。

(3) 今後の課題・展望

- ・自治会から出ている防犯委員の参加が少なく、出席できる防犯委員の選出が必要である。
- ・活動を継続し、安心安全で快適なまちづくりのために、防犯意識の高揚を図り、全員参加型の活動にしたい。

(4) アドバイス・メッセージ

- ・地道な地域活動が、地域住民の防犯意識を高め、犯罪の防止に役立つ。

